

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 11 月 18 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	シライ電子工業三上工場における空調設備の更新プロジェクト
排出削減事業者名	シライ電子工業株式会社
排出削減共同実施事業者名	Ginga Energy Japan 株式会社
事業実施場所	シライ電子工業株式会社三上工場 (滋賀県野洲市南桜西田井 1477-8)
事業の概要	本事業は、空調用の熱源機器を A 重油焚き吸収式冷温水機から高効率の電力使用のヒートポンプチラーとチリングユニットへ更新することにより、設備効率の向上と低炭素燃料へのエネルギー転換を行い、CO ₂ 排出量を削減する。
排出削減量の計画	539tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 2,605 tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	事業開始日 2008年6月1日 終了予定日 2013年3月31日
排出削減方法論	方法論番号 004：空調設備の更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	本排出削減事業が日本国内で実施されていることを、事業サイトを2010年10月29日に訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：シライ電子工業株式会社三上工場
追加性を有すること	1) 本排出削減事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものでもなく、CO2排出量の削減を目的として実施されたことを本排出削減事業者への質問等により確認している。 2) 本排出削減事業の投資回収年数において、13.5年であることは、事業者への質問、エネルギーコスト試算値に関して入手した根拠資料、及び検算により確認している。 3) 本排出削減事業者であるシライ電子工業株式会社は、全社をあげて様々な方面で環境対策、二酸化炭素排出量削減について積極的に取り組んでいた。通常、投資回収年数が3年以上となる事業計画を立てることは、実施が躊躇されるが、国内クレジット制度が会社の環境方針に則していること、先進的排出権創出事業に参加することによるPR効果も期待できることからこの度本制度参加に至った旨を確認した。また、国内クレジット制度事業作成支援があつて初めて本制度参加に至ったことを事業者からの聞き取りにより確認した。
自主行動計画に参加していない者により行われること	自主行動計画に参加していないことについては、排出削減事業者及びその他関係者への質問により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認している。
排出削減方法論に基づいて実施されること	1) 本排出削減事業は、承認排出削減「方法論番号 004:空調機器の更新」に基づき排出削減量を計算しており、また、それぞれの方法論の適用条件を満たしていることを確認した。 2) 既存設備の使用年数が法定耐用年数である15年の2倍(30年)を超えていないことを、質問・関連資料の閲覧

要件	審査手続き
	<p>により確認した。</p> <p>【方法論番号 004：空調機器の更新】</p> <p>適用条件 1 については、既存空調設備よりも高効率の空調設備への更新であることを現地視察および設備仕様書の閲覧等により確認している。</p> <p>適用条件 2 については、空調設備の更新を行わなかった場合、既存の空調設備を継続的に利用することができることを資料閲覧等により確認している。</p> <p>適用条件 3 については、排出削減事業実施前及び実施後の空調設備のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量が、計測器および日報によって確認できるため、適用条件を満たす。</p> <p>3) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

- ・更新前の空調設備においては、臭化リチウムを使用しており、フロンは使用していないことを確認している。

以上